

# 鹿児島医セン

連携室だより

2008.10 No.31

鹿児島医療センター（循環器・がん専門施設）

## リンパ浮腫外来について

当院産婦人科で手術、放射線治療を受けられた患者様対象に10月からリンパ外来を開設します。

リンパ浮腫は、リンパ管機能の低下した部位から末梢のリンパ液が運搬されなくなり、組織間隙に組織間液が貯留することにより発症します。リンパ浮腫には、原発性浮腫と続発性浮腫があります。婦人科におけるリンパ浮腫は、子宮ガン、卵巣がんなどの手術で下腹部のリンパ節を切除することでリンパ浮腫を発症する続発性リンパ浮腫が主です。リンパ浮腫発症に伴い、ADL・QOLの低下、外観の変化に伴う精神的苦痛などさまざまな問題が生じてきます。今年4月の診療報酬改定により、①リンパ浮腫指導管理料（入院1回のみ100点）の新設、②四肢リンパ浮腫に対する弾性着衣（ストッキングなど）の療養費払いが保険適応になりました。病棟においても、術前・術後よりリンパ浮腫発症予防と発症時の対処法が早期に行えるように患者様に対してリンパ浮腫に対する指導教育を開始しました。患者指導を行うことによって、今後、重症化することを防ぐことができると期待しています。現在、当病棟でリンパ浮腫での治療、セルフケア目的で教育入院されている患者様が1名います。入院時と比べて、膝下 右5cm前後、左10cm前後減少し体重も1週間で10kg減少し、「ずっと足が腫れあがってつらかったけど、うそのように軽くなりすごうれしい」との発言がありました。

婦人科リンパ浮腫外来では、今まで当院で治療を受けリンパ浮腫を発症した患者様にリンパ浮腫の以下の4つの保存的療法を行なっていきます。

**リンパドレナージ：**医療リンパドレナージといわれ、通常のマッサージとは異なります。患肢にたまったリンパ液をリンパ末端から吸収させやすくし、正常に機能しているリンパ管にまで排液させます。

**圧迫療法：**弾性着衣・弾性包帯を用いて、リンパドレナージで排液した患肢に再びリンパ液を戻さないようにします。筋肉のポンプ作用を効果的に利用することができます。

**運動療法：**リンパ浮腫の患肢を表面から圧迫して皮膚を固定した状態で運動を行い、リンパ管に筋肉ポンプを効果的に



リンパマッサージ施行後

作用させることができます。

**スキンケア：**リンパ浮腫でむくみの出た患肢は感染に対する免疫能力が低下しているため、細菌感染を起こしやすく、怪我などが治りにくい状態になっています。皮膚を清潔に保つケアを行ないます。

これらのことを個々の患者様の状態に合わせて行い、浮腫による症状が改善できるようにリンパ浮腫外来で支援していきます。毎週水曜日、予約制になっていますので詳しくお聞きになりたい方は鹿児島医療センター リンパ浮腫外来担当 竹添までご連絡下さい。（東3階病棟 竹添駒子）

# ティータイムを開催しました!

患者様が目をキラキラさせてティータイムの会場へとやってきました。目の前にはケーキにゼリー、季節のフルーツ盛りなど多くのデザートが並んでいます。

8月29日に東5階病棟で初めてのティータイムが開催されました。東5階病棟は、脳血管内科・脳神経外科病棟で多くの患者様に麻痺があり、ベッド上の生活を余儀なくされています。今回のティータイムは、「車椅子の患者様も食堂で食事を食べてもらいたい」「気分転換をすることで食事に対する意欲を高めたい」という看護師と栄養士の発案のもと開催が決定しました。

当日は車椅子の患者様も片手に点滴台を持っている患者様もニコニコと笑顔で会場へ来て自分の好きなデザート・飲み物を選び、食堂で食べていました。一番人気があったのは手作りのケーキと言いたいところですが、皮付きのかぶりつけるスイカでした。栄養管理室では、今後も患者様のQOL向上のため、各病棟の患者様の特性に合わせ、ティータイムやバイキングなどを計画し、開催したいと考えております。よろしくお願いいたします。(文責) 栄養管理室 貞島 詩織



ティータイム風景

## 新new任 紹face介



産婦人科医師

いのもと ゆきこ  
井元 有希子

9月に都城病院より異動になりました。まだここに来て1ヶ月ですが、病棟も外来もとても明るい雰囲気です、楽しく仕事をさせていただいております。癌専門施設ということで、婦人科腫瘍について多くの症例を経験できればと思います。ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



心臓血管外科レジデント

とよかわ けんじ  
豊川 建二

7月からお世話になります。今年の夏は、北京オリンピックで興奮された方も多いと思います。ソフトボール決勝はICUで処置をしていたら残念ながら見逃してしまいました。非常に残念でした。日々手術・術後管理に追われながら、これからさきずっと続く茨の道を、少しずつ歩み成長していく中で、少しでも病院・患者さんが元気になるように頑張ります。



## 登録医医療機関紹介 第16回

## 前田内科消化器科

当院は、昭和63年に父親(前田産婦人科)よりバトンタッチして、前田内科消化器科としてスタート致しました。おそらく、鹿児島医療センターに最も近いクリニックではないかと思えます。子供の頃、医療センターの周りは私の遊び場でありました。七高のお堀では、多くの人がコイやフナ釣りを楽しんでおりました。竹竿にミシン糸をつけ、ご飯粒の餌でもたくさんの魚が釣れました。魚たちも食糧難だったのでしょうか?七高グラウンド(現・県立図書館)では友達と野球に明け暮れ、あまり遅くなるとお袋が迎えに来て城山からの夕日を浴びながら、童謡を一緒に歌い、帰った記憶があります。まさしく「ALLWAYS 3丁目の夕日」の世界でした。



開業して20年が経ちますが、いつも医療センターの先生方には本当にお世話になっております。当院は14床のベッドを持ってのスタートでしたが、10年前無床にしましたので入院を必要とする患者さんは医療センターにお願いすることも多くなりました。中村先生をはじめ、多くの先生方にはいつも快く引き受けて頂き、心より感謝しております。入院をお願いした患者さんを時々見舞いに行きますが、入院設備の清潔で機能的なものには驚かされてしまいます。本当に入院患者さんの立場になって、よくよく検討されたのだろうと思います。

今後もお世話になることが多いと思いますが病診連携に協力していきたいと思っております。どうぞよろしく  
お願い致します。  
(院長 前田 利宗)

### 診療メモ

#### 「限局性スリガラス状陰影」

最近 胸部集検など、胸部CTを実施する症例の増加していること、及びマルチスライスCTなどの機器の進歩に伴い、限局性スリガラス状陰影:GGOに遭遇する機会が増えています。GGOとは肺野濃度の上昇のうち、霞がかかったような、正常構造を透見できる陰影が限局して存在するものです。

その鑑別としては 器質化肺炎などの炎症性病変、腺腫様過形成:AH、異型腺腫様過形成:AAH、気管支肺胞上皮癌(野口タイプA,B,C)などが挙げられます。悪性のものであってもPET検査上強い集積を示すことが少なく、鑑別はむずかしいようです。

よく行われる方法として経過観察があります。増大する病変は悪性を疑いますが、縮小している場合、炎症性病変を考えます。AH、AAH、気管支肺胞上皮癌(野口タイプA,B)などでも増大速度は遅い為、径10mm程度までのものは経過観察が適切とされています。その際 重要なことは、陰影の大きさの変化だけではなく、内部の性状、気管支、肺血管の収束や胸膜陥入の出現にも注意を払うことです。

ある呼吸器外科医の話によると その先生のところでは経過観察しているGGOの患者さんでは、良性か悪性がわからない病変が体に存在することに途中で耐えられなくなり、多くの症例で手術を希望するようになるということです。ところが私の外来ではそういった事はほとんどありません。医者の説明の仕方一つで患者さんの意向が全く異なることになるようです。興味深いことと思えます。  
(放射線科医長 米倉 隆治)

# セカンドオピニオン外来のご案内

## セカンドオピニオンとは

鹿児島医療センターでは、患者様及びそのご家族を対象に適切な医療情報を提供するためセカンドオピニオン外来を開設しております。

医療技術の飛躍的な進歩、また社会の高齢化にともない治療法は多様化しておりその選択は容易ではありません。また医療への安心感、あるいは満足度など患者様の目線に立った医療も求められています。

セカンドオピニオンは、そのような患者様とご家族が現在受けようとしている医療について第三者的立場にある専門家からも意見を聞き十分納得したうえで治療を受けたいという要望に応えるものです。

鹿児島医療センターでは、主治医と患者様の信頼関係をさらに深め医療の精度をより高める有効な手段となり得るように主治医が安心して資料を託せる専門医が担当するようにしております。

診療は**完全予約制**で自由診療となります。通常の診療の域を超え、時間と労力を必要とします。検査の重複をさけるため資料は持参していただき、診療時間は十分余裕をもって設定いたします。先生方には、紹介に際し保険が適用されるようになっております。(B010 診療情報提供料(II) 500点) (心臓血管外科部長 豊平 均)

## お申し込み方法

**完全予約制**です。当院ホームページ上で「セカンドオピニオン外来受診申込書」を印刷して頂き、必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

※上記が困難な場合、地域医療連携室へ連絡いただければ、こちらから申込書をFAX致します。

## 相談の対象となる方

患者本人及びその家族が受けられます。家族の場合は本人の同意が必要です。

**完全予約制**ですので下記の事項をご理解のうえ、当院地域医療連携室に連絡しお申込み下さい。

## 相談内容

- ・現在の診断・治療に関する専門医としての意見の提供
- ・今後の治療に関する専門医としての意見の提供
- ※治療結果の評価、医療費の内容、医療給付に関すること、医療訴訟の問題は相談の範囲外となります。

## 対象疾患

循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患

## 相談診療科

全標榜診療科とします。但し、相談内容によってはお受け出来ないこともあります。

## 相談日及び担当医

医療連携室から各診療科に連絡し、申し込みの内容を検討のうえ、日程を調整致します。

## 相談に必要な書類

- ・診療情報提供書(紹介状)
- ・CT、MRI、レントゲンフィルムなどの画像
- ・検査データ
- 上記以外にも必要な情報があればお願い致します。

## 〈ご本人以外の場合〉

- ・患者さまとの続柄を確認できるもの
- ・ご相談者の身分証明ができるもの(運転免許証、パスポートなど)

## 相談費用

1時間以内 10,500円 以後30分増すごとに 5,250円を加算  
※健康保険適用外で、全額自費になります。

## 主治医への報告書の提出

セカンドオピニオン外来後、担当医から紹介元医療機関主治医へのご報告書を作成致します。

## セカンドオピニオンに関するお申し込み・お問い合わせ先

鹿児島医療センター地域医療連携室

**Tel: 099-223-4425**

**Fax: 0120-334-476 (県外の方: 099-223-4426)**

受付時間

月曜日～金曜日(8:30～17:15)

祝祭日、年末年始は除く

## お問い合わせ先

独立行政法人  
国立病院機構

**鹿児島医療センター (循環器・がん専門施設)**

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号  
(代)TEL 099 (223) 1151 FAX 099 (226) 9246  
http://www.kagomc.jp  
脳卒中ホットライン ▶▶ **090-3327-5765**

(地域医療連携室) 濱田、大渡、平田、中島、田添、吉留、善福  
直通電話 ▶▶ **099-223-4425**  
フリーダイヤル専用FAX ▶▶ **0120-334-476**  
※休日・時間外は当直者で対応します。

